

メンテックワールド社長 小松節子のハートフルメッセージ



芝清さんをしのんで

『美るほど頭を垂れる稲穂かな』という有名なことわざがあります。人は偉くなればなるほど謙虚でなければならぬ、という意味ですが、7月上旬に亡くなられた芝清さんを思うとき、この言葉を思い起こします。

政治家のキャリアを重ねても偉ぶることがまったくない人で、電話ですむような案件であっても、必ず会社に足を運んでくださっていました。そんな人柄だからでしょうか。芝清さんは、社員を温かい気持ちにさせるような、不思議な魅力を持った人でした。

忘れられないのは、2013年にメキシコのグアナファト市で、芝清さんに声をかけていただき、メキシコ政府との朝食ミーティングに一緒に参加させていただいたこと。互いに別々の案件でメキシコを訪れていましたが、芝清さんの配慮がとてつもなく、良い思い出になっています。

呉出身の芝清さんが、東広島で地盤を築くのがいかに大変なことだったかは、想像に難くありません。だからこそ、新しい故郷となった東広島を愛する気持ちは人一倍だったのかなと思います。「東広島に来てくれてありがとう」。リーマンショックの年の2008年に広島市から東広島市に本社を移転する際、私たちを迎えてくださった、芝清さんの一言は今でも忘れられません。心からご冥福をお祈り申し上げます。